

ピアニストによるレクチャー (9)

「楽に弾けなければ 永遠に弾けない！」

なぜエチュード=練習? ~ハノンからショパンエチュードに向けて~

ピアニスト：菊地裕介 2006年ジュネーブ国際音楽コンクール第3位入賞

「ピアニストによるレクチャー」シリーズ第9回は

~練習のポイント&指導のポイント~

- *単純反復は苦痛の固定
- *ハノンは役立つ教材だが、ある1行ですべてが台無し!
- *動かない指ほど良い指=石のような手を目指せ!
- *皆が勘違いしている脱力ポイント
- *科学的ペダリング
- *譜読みとは、指使いを決めることである
- *イメージング=グルーピング=ポジショニング



profile

高校2年の1994年、第63回日本音楽コンクールで第2位。高校卒業と同時に渡仏し、パリ国立高等音楽院ピアノ科に入学。1999年一等賞で卒業。2001年研究科修了。同校ではほかに歌曲伴奏、20世紀音楽、フーガとソナタ形式を学び、いずれも一等賞で高等ディプロマを取得。更には管弦楽法、歌曲リサイタルについても学ぶ。2003年ハノーファー音楽大学ソロクラス入学。2007年東京藝術大学の非常勤講師を務めることになったのを機に帰国し日本での演奏活動を始め、ソロ、室内楽、オーケストラとの共演など、年間30回を超える演奏会に出演している。2008年1月にはデビュー CD「イマージュ・フランセーズ」(コロムビア・ミュージックエンタテインメント)を発売。CDに収録した曲目にメシアンを加えたプログラムで帰国記念のリサイタル「イマージュ・フランセーズ」を開き、いずれも注目を浴びた。20世紀音楽の普及に力を注いでおり、今年2008年、「菊地裕介メシアン生誕100年プロジェクト」を立ち上げ、4月には第1弾として「幼な児イエスにそそぐ20のまなざし」を全曲演奏し、11月にはパリよりアンサンブル・アンテルコンタンポランの主力ピアニスト永野英樹氏を迎えて「アーメンの幻影」全曲演奏会を開く。これまでに加藤伸佳、ジャック・ルヴィエ、アリエ・ヴァルディの各氏に師事。この間、第46回マリア・カナルス(2000・スペイン)で第1位、第20回ポルト(2003・ポルトガル)で第1位、第61回ジュネーブ(2006・スイス)で第3位、第5回ブーランク(2006・フランス)で第1位など、数多くの国際コンクールに上位入賞。1997~2009年ロームミュージックファンデーションの奨学生。2004~6年文化庁新進芸術家海外留学研修員。東京藝術大学、東京音楽大学、桐朋学園大学で、ピアノのみならず室内楽や音楽理論など、幅広いジャンルで後進の指導に当たる。

日時 2009年2月25日(水) AM10:30~12:00

会場 カワイ名古屋2F コンサートサロン「ブルー」

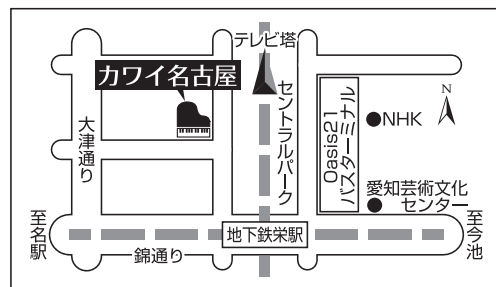
受講料 カワイ講師・音研会 2,500円 (税込)

楽譜会員 (Miyoshiネット・PTNA・JPTA・ショパン協会) 3,000円 (税込)

一般 3,500円 (税込)

■お問い合わせ・お申し込みは

カワイ名古屋 Tel.052-962-3939
名古屋市中区錦3丁目15-15 Fax.052-972-6427



ピアニストによるレクチャー(9): 菊地裕介

会員区分 (いずれかに○をおつけください)

お名前 _____

カワイ講師・音研会・楽譜会員・Miyoshiネット
PTNA・JPTA・ショパン協会・一般

ご住所 _____

TEL. _____

FAX. _____

E-mail. _____